



(被災地派遣職員撮影)

災害から**命**を守る

- 1.避難行動について.....1
- 2.防災対策について.....4
- 3.持出品・備蓄食料品について...5
- 4.自助・共助・公助について.....6
- 5.町管理備蓄物資について.....8
- 6.補助制度について.....8

総務課危機管理係

近年、記録的な大雨や台風などによる災害が頻発化し、多くの被害が出ています。

令和6年1月1日午後4時10分、石川県能登地方にマグチュード7.6の地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。津波や土砂災害なども含め、災害の被害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」「公助」でいざという時に備えましょう。

1.避難等に関する情報

大雨や台風により、多くの人が避難の遅れなどにより犠牲になっています。下記表を参考にいただき逃げ遅れることのないよう、**警戒レベル4までに必ず避難**しましょう。

警戒レベル	新たな避難情報等		
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	5.すでに災害が発生し危険な状況です。少しでも安全な場所へ移動し緊急安全確保行動をとりましょう。
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	4.危険な場所から避難場所などの安全な場所（立ち退き避難または屋内安全確保）へ全員避難しましょう。
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとろひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	3.避難に時間のかかる高齢者等は立ち退き避難または屋内安全確保を行いましょう。その他の人も状況に応じ、避難準備、自主避難しましょう。
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	2.ハザードマップで避難場所や避難経路など自ら避難行動を確認しましょう
1	 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	1.最新の気象情報に注意して、災害への心構えを高めましょう

## 2.土砂災害から命を守る

山の多い伊方町では土砂災害の発生が高くなっています。町民一人ひとりが日頃から土砂災害に備えハザードマップを確認しておきましょう。

### 土砂災害の種類と主な前兆現象

土砂災害の種類	土石流	がけ崩れ	地すべり
			
	山腹や谷川の石や土砂が雨などによって一気に下流に押し流す現象。	雨や地震によって、いきなり斜面が崩れ落ちる現象。	土地の一部あるいは全部が地下水などによって、ゆっくりと斜面下方へ移動する現象。
<b>主な前兆現象</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●山鳴りがする。</li> <li>●川の水がにごり、流木がまじり始める。</li> <li>●腐った土のにおいがする。</li> <li>●雨が降り続けているのに水位が下がる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がけから小石がパラパラと落ちてくる。</li> <li>●がけに割れ目が見える。</li> <li>●がけから水が湧き出ている。</li> <li>●がけから木の根が切れる音がする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●沢や井戸の水がにごる。</li> <li>●地面や斜面にひびわれができる。</li> <li>●斜面から水が噴き出す。</li> <li>●家や壁、木や電柱が傾く。</li> </ul>

# 3.地震から命を守る

地震が発生し火災、避難指示が迫っている場合は、最寄りの避難場所に避難しましょう。避難場所には一時避難場所と指定緊急避難所があります。危険を感じたら、より安全な場所へ避難しましょう。

## 地震避難のフローチャート



# 4.津波から命を守る

津波から命を守るには、高台へ避難するしかありません。大きな揺れを感じたら、すぐ避難することを肝に銘じておきましょう。



## 津波から安全に避難するために

**より高い場所へ**  
すでに浸水が始まってしまっても安全な高台に避難する時間的な余裕がないときは、近くの頑丈な高いビルなどに逃げることを考えましょう。

**地震の揺れが小さくても安心できない**  
地震の揺れがそれほど小さくなくても津波が発生するケースは、過去にもしばしばありました。津波の危険がある地域では小さな揺れでも、揺れを感じなくても、まずは避難することを最優先に行動しましょう。

**原則として車は使わず 徒歩で避難**  
地震による液状化で車による避難が困難になるおそれがあります。避難は徒歩が原則です。

**全国どここの沿岸でも津波は来る**  
四方が海に囲まれた日本では、津波はどこでも発生する可能性があります。気象庁の津波情報に従って行動しましょう。

**津波の前には必ず引き潮があるとは限らない**  
津波の前触れとして必ず引き潮があるとは限りません。引き潮がなくても津波が襲ってくる場合があることをしっかり認識しておきましょう。

## 伊方町ハザードマップ

## 伊方町津波ハザードマップ



# 災害が起きる前に対策を行いましょう

## 1.家具の固定や置き方に工夫しましょう。

タンスや本棚、大型家電などは器具で固定し、高い所に物を置くと落下の危険性があるため、転倒防止対策をとりましょう。

L字金具等で固定する



窓ガラス等にフィルムを張る



高い所に物を置かない



体に倒れてこないようにする



## 2.食料、飲料を備蓄しておきましょう。

電気、ガス、水道などライフラインが止まった場合に備えて、普段から保存のきく食料などを備えておきましょう。

またローリングストックを活用し、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

### 備蓄例(家族の人数分必要です)

- ・飲料水 3日分(1人1日3リットル)
- ・食料 3日分(アルファ米など)
- ・ティッシュペーパー、カセットコンロなどの日常生活品



※大規模災害発生時には、町と各家庭合わせて**1週間分**の備蓄が望ましいとされています。

### 3.安否確認方法を確認しておきましょう。

災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう、安否確認の方法や集合場所を事前に話し合っておきましょう。

災害時には電話回線がつながりにくくなりますので、災害用伝言ダイヤル等を利用しましょう。

1 7 1 を入力

録音する場合      再生する場合

1                      2

連絡をとりたい人の  
自宅や携帯電話の番号を入力

伝言を録音      伝言を再生

### 4.防災訓練に参加しましょう。

災害が起きた時慌てずに避難するためにも、日頃から避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。



## 非常用持出品・備蓄品を準備しましょう

大規模災害が発生すると、水や電気などのライフラインは止まります。物流が止まると支援が届くまで自力で生活する必要があります。災害に備え各ご家庭でも災害に対応できる備えをしておきましょう。

#### 常時携行品

外出先で被災した場合の防災グッズ



#### 非常持出品

避難時に持ち出す防災グッズ



#### 備蓄品

自宅に用意しておくべき飲食料



**乳幼児がいる家庭**  
粉ミルク、離乳食、紙おむつ、母子手帳など



**要介護者がいる家庭**  
介護用品、大人用紙おむつ、常備薬など



**ペットがいる家庭**  
ペットフード、トイレ、リード、ゲージなど



# 常時携行品・非常用持出品・備蓄品リスト(例)

	品名	メモ
常時携行品(例)	<input type="checkbox"/> 笛など	非常時、居場所を知らせる
	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	小型のもの
	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	小型のもの
	<input type="checkbox"/> 連絡先メモ	家族や親戚の携帯番号、勤務先など
	<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー	予備バッテリーもあればよい
	<input type="checkbox"/> 携帯食料	飴、チョコレートなど高カロリーのもの

非常用持出品(例)		
	品名	メモ
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金	
	<input type="checkbox"/> 預貯金通帳	コピー可
	<input type="checkbox"/> 健康保険証	コピー可
	<input type="checkbox"/> 運転免許証	コピー可
	<input type="checkbox"/> カード類	コピー可
避難・情報品	<input type="checkbox"/> 印鑑	
	<input type="checkbox"/> 鍵	自宅、車など
	<input type="checkbox"/> 持病薬	お薬手帳、処方箋等
	<input type="checkbox"/> 非常用持出袋	リュックサックなど両手が使えるもの
	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	1人にひとつ
衛生用品	<input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん	1人にひとつ
	<input type="checkbox"/> 携帯電話	充電器、予備バッテリー
	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	乾電池式、手動充電可能なもの
	<input type="checkbox"/> 乾電池	
	<input type="checkbox"/> 筆記用具	
生活用品	<input type="checkbox"/> 印鑑	
	<input type="checkbox"/> 飲料水	500ml×3本程度
	<input type="checkbox"/> 非常食	3日分程度
	<input type="checkbox"/> 救急用品	絆創膏、三角巾、風邪薬等
	<input type="checkbox"/> マスク	
女性・妊婦	<input type="checkbox"/> 消毒用アルコール	
	<input type="checkbox"/> 体温計	
	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	
	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー	トイレットペーパーでも可
	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	
女性・妊婦	<input type="checkbox"/> 手袋、軍手	
	<input type="checkbox"/> ハンカチ	
	<input type="checkbox"/> タオル	
	<input type="checkbox"/> ビニールシート	
	<input type="checkbox"/> ポリ袋	
女性・妊婦	<input type="checkbox"/> 雨具	
	<input type="checkbox"/> マスク	
	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	
	<input type="checkbox"/> スリッパ	
	<input type="checkbox"/> 生理用品	
女性・妊婦	<input type="checkbox"/> 化粧品	
	<input type="checkbox"/> 新生児用品	
	<input type="checkbox"/> 母子手帳	

非常用持出品(例)		
乳幼児	<input type="checkbox"/> 粉ミルク	
	<input type="checkbox"/> 哺乳瓶	消毒セット等
	<input type="checkbox"/> 離乳食	スプーン
	<input type="checkbox"/> 紙おむつ	
	<input type="checkbox"/> おしりふき	
乳幼児	<input type="checkbox"/> おもちや	
	<input type="checkbox"/> メガネ	
	<input type="checkbox"/> 入れ歯	洗浄剤もあれば良い
	<input type="checkbox"/> 補聴器	予備電池
	<input type="checkbox"/> 常備薬	
ペット	<input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ	
	<input type="checkbox"/> ペットフード	
	<input type="checkbox"/> 用品	食器、トレイ、リード、ケージ等
ペット	<input type="checkbox"/> 連絡先	リード等に取り付けておく

備蓄品(例)		
	品名	メモ
衣類	<input type="checkbox"/> 下着、上着	季節に合わせた衣類
	<input type="checkbox"/> 毛布	
	<input type="checkbox"/> タオル等	
食料・飲料水	<input type="checkbox"/> 米又はアルファ米	
	<input type="checkbox"/> レトルト、カップ麺等	非常食を含め1週間以上
	<input type="checkbox"/> お菓子等	
	<input type="checkbox"/> 水	1日3リットル以上を1週間分以上
	<input type="checkbox"/> ボリ容器	生活用水に利用
生活用品	<input type="checkbox"/> カセットコンロ	カセットボンベも多めに用意
	<input type="checkbox"/> 皿、コップ、箸	
	<input type="checkbox"/> サランラップ	食器敷に使用
	<input type="checkbox"/> 缶切り、栓抜き等	
	<input type="checkbox"/> アルミホイル	
	<input type="checkbox"/> キッチンペーパー	
	<input type="checkbox"/> 鍋	
	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	
	<input type="checkbox"/> 歯磨きセット	
	<input type="checkbox"/> ハンドソープ等	
	<input type="checkbox"/> 体温計	
	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	
	<input type="checkbox"/> ドライシャンプー	
	<input type="checkbox"/> ランタン	ろうそくでも可
	<input type="checkbox"/> 新聞紙	
<input type="checkbox"/> 段ボール		
<input type="checkbox"/> ガムテープ等		
<input type="checkbox"/> スリッパ		
<input type="checkbox"/> 長靴		
<input type="checkbox"/> 寝袋		
<input type="checkbox"/> 懐中電灯等	予備電池	
<input type="checkbox"/> 工具類	スコップ、バール、ロープ等	

## 自助・共助・公助について

近年頻発している自然災害による被害を抑えるためには、「自助・共助・公助」が非常に重要です。

自助とは自分の命を自分で守ること、共助とは地域で助けあうことにより災害を防ぐこと、公助とは災害から暮らしを守るため国や県、町による対策や取り組みのことです。

高齢化社会となり自助のみでは限界があります。公助でカバーできないこともあります。ご自身と家族の身を守り、地域の人たちと協力し平時から自助、共助に取り組み災害に備えましょう。

### 【自助とは・・・】

災害に備えて自身でできることを考え対策しておくこと。自分や家族の命を守ることが大切です。

### (例)

- ・水、食料、常備品の備蓄及び持出品準備
- ・災害時、家族への連絡及び安否確認方法の確認
- ・ハザードマップ、避難経路の確認
- ・防災訓練の参加
- ・住宅の耐震化及び地震対策

### 【共助とは・・・】

災害時に自身や家族の安全を確保したのち、地域の自主防災会や消防団などと助け合うことです。

自主防災組織の活動は、災害発生に備え地域の安全活動や地区防災計画を作成し地域内の安全点検、防災知識の啓発、防災訓練や消火訓練を行います。

### 【公助とは・・・】

平時から災害発生に備え、防災に対する啓発、準備、整備を進めています。町では今年度、町民への非常用トイレ及び給水袋整備、ヘリポート場の整備を実施します。災害に備え的確に災害対応できるよう努めていきます。

災害対策の基本は、一人一人が防災意識を高め、自助の力を高めることです。また自身や家族で対応できなくなったとき、頼りになるのが共助です。

そして公助の手を被災者へ届けるためには共助との連携が欠かせません。

災害は、いつ発生するか分かりません。いざというときに備え地域が一体となって組織力を高めましょう。



### 【町内のヘリ離発着場について】

町内にはヘリポートとして8箇所整備しており、これ以外にも32箇所離着陸できる場所を確認しています。

主な離着陸場一覧表

番号	名称	地区
1	伊方中学校グラウンド	湊浦
2	伊方町民グラウンド	川永田
3	豊之浦漁港ヘリポート	豊之浦
4	旧二見小学校グラウンド	加周
5	大成漁港ヘリポート	大成
6	三机小学校グラウンド	三机
7	瀬戸中学校グラウンド	三机
8	塩成狩浜漁港ヘリポート	塩成
9	大久展望台ヘリポート	大久
10	佐田岬斎場ヘリポート	神崎
11	三崎小中学校グラウンド	三崎
12	三崎港ヘリポート	三崎
13	三崎高校グラウンド	三崎
14	与修防災センターヘリポート	与修
15	串ヘリポート	串
16	旧二名津小学校グラウンド	二名津



## 町管理備蓄物資について

災害発生により物資調達ができなくなった場合に備え、町では指定避難所などに、町民3日分の飲食料を備蓄しています。

また各地区集会所にも地区住民1日分の備蓄食料を準備しています。

しかし大規模災害になると町の備蓄物資だけでは、全町民に対応することはできません。ご自宅でも必要な備蓄品を準備しておいてください。

備蓄場所	アルファ米	パン	スープ	お菓子	飲料水(500ml)
旧水ヶ浦小学校	700食	408食	1,140個	-	1,488本
伊方小学校	3,870食	1,920食	5,700個	-	7,776本
九町小学校	1,700食	816食	2,460個	-	3,360本
三机小学校	1,200食	600食	1,800個	-	2,424本
大久小学校	1,100食	528食	1,620個	-	2,160本
三崎高校	1,750食	840食	2,640個	-	3,480本
伊方中学校	1,800食	960食	-	2,760食	4,800本
瀬戸中学校	720食	360食	-	1,080食	2,640本
三崎小学校	960食	600食	-	1,560食	2,880本
三崎中学校	960食	600食	-	1,560食	2,880本
旧二名津小学校	1,760食	984食	-	2,720食	6,000本
串防災センター	600食	480食	-	1,080食	2,400本
地域振興センター	1,450食	272食	-	980食	4,800本
町見公民館	1,180食	384食	-	1,260食	5,520本
二見地区体育館	560食	240食	-	620食	2,880本
瀬戸支所	350食	240食	-	620食	1,200本
瀬戸アグリピア	410食	240食	-	620食	1,200本
瀬戸町民センター	350食	240食	-	620食	1,200本

## 補助制度について

災害時に想定される孤立に備え、家庭用冷凍庫及びポータブル蓄電池・発電機の補助をしています。

また、木造住宅耐震化補助事業も行っていますので、今後発生が危惧される南海トラフ地震等に備え、各ご家庭の耐震化を図ってください。

### 災害時孤立対策補助事業

#### 1.対象機器

- (1)家庭用冷凍庫
- (2)ポータブル蓄電池又は発電機

#### 2.補助金額

購入金額の2分の1以内で上限30,000円

- (3)専用住宅、もしくは併用住宅で、延べ面積の過半が住宅の用途に供されているもの
- (4)枠組み壁工法、丸太組工法大臣等の特別な認定を得た工法でないもの

#### 2.補助事業

- (1)木造住宅耐震診断事業
- (2)木造住宅耐震改修等事業
- (3)耐震シェルター設置工事事業
- (4)ブロック塀等安全対策事業

詳しくは建設課建設管理係へお問い合わせください。

### 木造住宅耐震化補助事業

#### 1.対象住宅

- (1)昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅
- (2)階数が2階以下で、延べ面積500㎡以下のもの